

新たなごみの資源化施設について

新たなごみの資源化施設について、2023 年 3 月の行政報告以降の進捗状況等を報告します。

1 資源ごみ処理施設（ビン・カン、ペットボトル、容器包装プラスチック等）

（1）資源ごみ処理施設整備について

資源ごみ処理施設整備は、「町田市資源循環型施設整備基本計画」改定版に基づき、進めていきます。現在の状況は、相原地区については、7 件中 2 件の用地取得が完了しており、2023 年度内に残り 5 件の用地取得を目指しています。

施設の整備工事発注に向けた発注仕様書の準備を進めています。上小山田地区については、関係者との協議および調整を進めています。

（2）資源ごみ処理施設連絡会

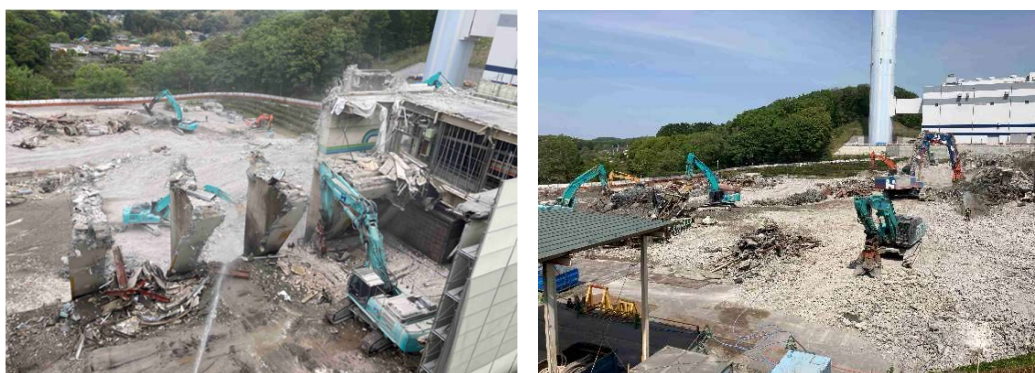
資源ごみ処理施設連絡会を、相原地区は 3 月 4 日（土）、上小山田地区は 3 月 27 日（月）に実施しました。相原地区資源ごみ処理施設の進捗状況の報告及び相原大谷戸緑地の進捗状況の報告、町田市資源循環型施設整備基本計画の改定について説明しました。

2 町田市バイオエネルギーセンター（ごみ焼却施設、バイオガス化施設、不燃粗大ごみ処理施設）

工事の進捗状況

旧清掃工場の地上部及び煙突の解体工事が完了し、地下構造物の解体工事に着手しました。解体工事に伴う土壌汚染調査の結果、基準値の超過が確認された区画につきましては、土の入替等の対策工事を実施します。工事にあたっては、引き続き、周辺への配慮に努め、安全第一に進めます。

【旧工場棟解体工事写真】



解体工事状況

【熱回収施設等の整備スケジュール】（年度）

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
								現在 ↓	
設 計									
第 1 期工事	旧管理棟・旧花の家解体工事 造成工事								
第 2 期工事			工場棟建築工事・プラント工事 新管理棟建築工事						
							2022年1月～ 運営開始		
						施設稼働			
第 3 期工事							既存工場棟解体工事		
第 4 期工事							ストックヤード棟・外構工事		

旧工場棟解体に伴う土壌調査結果
調査結果概要

- ・ 4地点（ア、イ、カ、キ）で「鉛及びその化合物」が、3地点（ウ、エ、オ）で「ふっ素及びその化合物」が溶出量基準値を超過しました。（【調査地点図】参照）。

鉛及びその化合物

調査地点	溶出量測定値（最大）	溶出量基準値
地点ア	0.027 mg/L	0.01 mg/L 以下
地点イ	0.024 mg/L	
地点カ	0.011 mg/L	
地点キ	0.013 mg/L	

測定値は、ミネラルウォーターの成分規格値（0.05mg/L 以下）よりも小さな値でした。

ふっ素及びその化合物

調査地点	溶出量測定値（最大）	溶出量基準値
地点ウ	1.5 mg/L	0.8 mg/L 以下
地点エ	1.0 mg/L	
地点オ	0.93 mg/L	

測定値は、海水中のふっ素の濃度 1.3～1.5 mg/L と同程度の値でした。

【調査地点数】

- 特定有害物質 ： 275 地点（250 試料）
- ダイオキシン類 ： 102 地点（103 試料）

